

22年度予算 22,594千円 前年度比 479千円増

| | |
|--------------------------|----------------|
| 〔収入総額〕 22,269万4千円 | ・賦課金 740万6千円 |
| | ・特別賦課金 396万1千円 |
| | ・受入行使料 14万4千円 |
| | ・受入手数料 24万3千円 |
| | ・受入漁料 470万円 |
| | ・受入補助金 104万8千円 |
| | ・指導事業雑収益 470万円 |
| | ・その他 39万2千円 |
| 〔支出総額〕 22,069万4千円 | ・繁殖保護費 628万円 |
| | ・人件費 609万9千円 |
| | ・旅費交通費 120万円 |
| | ・事務費 122万円 |
| | ・業務費 85万3千円 |
| | ・諸税負担金 2万円 |
| | ・支払賦課金 57万円 |
| | ・増殖経費 300万円 |
| | ・施設費 66万円 |
| | ・減価償却費 11万円 |
| | ・法人税等 40万円 |
| | ・予備費 33万9千円 |
| | ・その他 184万3千円 |

「こんな考え方」

- 小阿賀野川開門より自然遡上が可能になったことから鮎の本流放流量を調整する。
- サケ資源有効利用調査は、県の指導もあり今年度も試し釣り継続。運営についても先進地視察を行い、次年度の事業化を目指す。
- 河川物産の販売を更に進める。



活発な論議から活性化へ

平成21年度決算 経費削減から若干の黒字を計上

「決算の傾向？」
※黒字計上の要因として、役員定数減による関連経費の削減効果が表れている。しかし、収入全体では微増であり、根本的な財政再建が進んでいるとは言えない。特に、組合員の減少に伴う賦課金の減と遊漁券販売においては、十六年比で二百万円もの減少となっている。経費削減にも限度があり、新規事業の展開なくして組合の将来はおぼつかない。予算においても、部署別に収支を細分化し、バランスの取れた全体収支計画が必要である。

「決算の傾向？」
※黒字計上の要因として、役員定数減による関連経費の削減効果が表れている。しかし、収入全体では微増であり、根本的な財政再建が進んでいるとは言えない。特に、組合員の減少に伴う賦課金の減と遊漁券販売においては、十六年比で二百万円もの減少となっている。経費削減にも限度があり、新規事業の展開なくして組合の将来はおぼつかない。予算においても、部署別に収支を細分化し、バランスの取れた全体収支計画が必要である。

「主な増減」
※人件費で四十八万円の減/旅費交通費で七十三万円の減。更に業務費で二十万円の支出減となった。収入全体では百十万円ほどの増であった。

第五十二回通常総代会開催
(平成二十二年六月二十日)
(於 阿賀野市安田公民館)

用語？

- ◆繁殖保護費とは、増殖放流経費のこと。
- ◆賦課金とは、組合費のこと。

FUJITA・YOKOGOSHI

【土 建 業】

代表 藤田 正明

☎ 950-0208 新潟市江南区横越中央 2-10-8
TEL 025-385-1177

キャニオンパーク新谷

自然溪流釣り場/オートキャンプ場
阿賀町新谷(新発田-津川線)
TEL 0254-99-2853(ルアー・フライ釣り)

(株)三川土建

土木工事のことならお任せ

阿賀町五十沢 1302 番地
☎ 0254-99-3584 FAX3822

ご協賛ありがとうございました。
ご座いました。

資格審査委員会開催

◆平成21年度より資格審査委員会の設置が定款絶対記載事項になったことから、新規加入者を含む1,058名の審査を行った。結果、特に問題はなく全員が有資格者と認められた。
◇資格審査項目として、「前年度漁業従事日数/住所氏名/地区推薦書」など記載した資格審査調書により審査した。
※資格審査委員会は、既存組合員及び新規加入者(譲渡・相続含む)について、定款8条の2の規定により、毎年資格の有無を審査する。

増殖放流→どう生かす!



サケ有効利用調査委員会報告
■余剰サケの活用から年々厳しくなる組合運営の新たな財源化と清流阿賀野川の魅力を全国に発信し、遊漁者の集客を図り地域経済の活性化にも繋げたい。この様な目的から「サケ有効利用」に向け、試し釣りを実施した。

【実施状況】
* 試し釣りは、小松地区と横越地区で行った。他地区では増水や河川工事等条件が整わず実施できなかった。
* 試し釣り調査員は、各地区組合員から二十名を推薦し、指導者一名から技術指導を受けた。
* 漁具は、ルアー・フライの竿釣に限定した。
* 総捕獲数、五十八尾で、(内、オス四十二尾、メス十六尾) ※メスは全て放流。
【留意点】
・大河川であることから安全対策への配慮。水際など釣り場によって釣果に差があるので、釣り場の平準化が必要。
・早期群の試し釣りも必要。(可能であれば) ※県より、試し釣りを含む準備期間二か年を指導されており、二十二年度も試し釣りを実施する予定です。関係地区の皆様には何かとお世話になります。よろしくお願い致します。

加茂川漁協における「孵化事業」と特産品開発

視察見聞

ふ化場に到着するやいなや紹介も早々に「相川組合長」から組合運営とふ化事業について説明を受けた。
ふ化場の運営経費や人員配置など実務的な話かと思いきや、その話の内容は、自然環境、倫理など多岐に亘り、技術論と言うより、むしろ哲学的であった。

現場はアイデアの宝庫

ふ化場にはアイデアが溢れていた。ふ化槽の改良から下部より水力を与えることによる循環運動が起り水温が安定し温度管理が容易になっている。又、地下水と山水を適時切替えるこ

(報告/松尾)
二十二年十一月二十九日実施



平成22年度 第5種放流計画

(阿賀漁協・連合会/委託放流・義務放流・自主放流)

平成22年2月9日連合会会議室において22年度の5種放流計画の協議を行い、次のように決定しました。

| 魚種 | 委託放流 | | 義務放流 | | 阿賀漁協自主放流 | |
|-------------|---------|-------|------------------|-------|----------|-------|
| | 連合会 | 阿賀漁協 | 連合会 | 阿賀漁協 | 本組合 | 地区 |
| あ ゆ | 600 kg | 300 | 230 | 230 | 690 | 180 |
| こ い | 0 kg | 0 | 0 | 0 | | |
| ふ な | 80 kg | 40 | 140 | 140 | | |
| にじます | 60 kg | 30 | 115 | 115 | | |
| やまめ | 6,000 尾 | 3,000 | 9,500 | 9,500 | | |
| いわな | 6,000 尾 | 3,000 | 9,000 | 9,000 | | 3,000 |
| かじか | 600 尾 | 300 | 2,050 | 2,050 | | |
| もくず蟹 | 30 kg | 15 | 27.5 | 27.5 | | |
| うぐい (産卵場造成) | | | 25m ² | | | |

※自主放流の内訳/本組合「あゆ」阿賀協 570 kg/阿賀町 80 kg/東北電力 40 kg
地区「あゆ」川内 70 kg/三川 70 kg/津川 40 kg
地区「いわな」川内地区 3,000 尾

※委託放流(県委託)
※義務放流(組合に割当てられるもの)
※自主放流(地区組合及び本組合その他)
※自主放流はその年によって異なります。